

文字列の回転加工を行う

- ・本資料は、レーザー加工機 RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH が正常にセットアップされていることが前提となります。
- ・本資料は、RSD-SUNMAX-FL30/50 または UVZH 用制御ソフト EzCad2J が正常にインストールされていることを前提としています。
- ・本資料は、データ作成方法等の詳細内容については、言及しません。
(詳細な内容については、「EzCad2J ユーザーマニュアル.pdf」を参照ください。)

準備

加工を行う前に EzCad2J の設定を確認します。

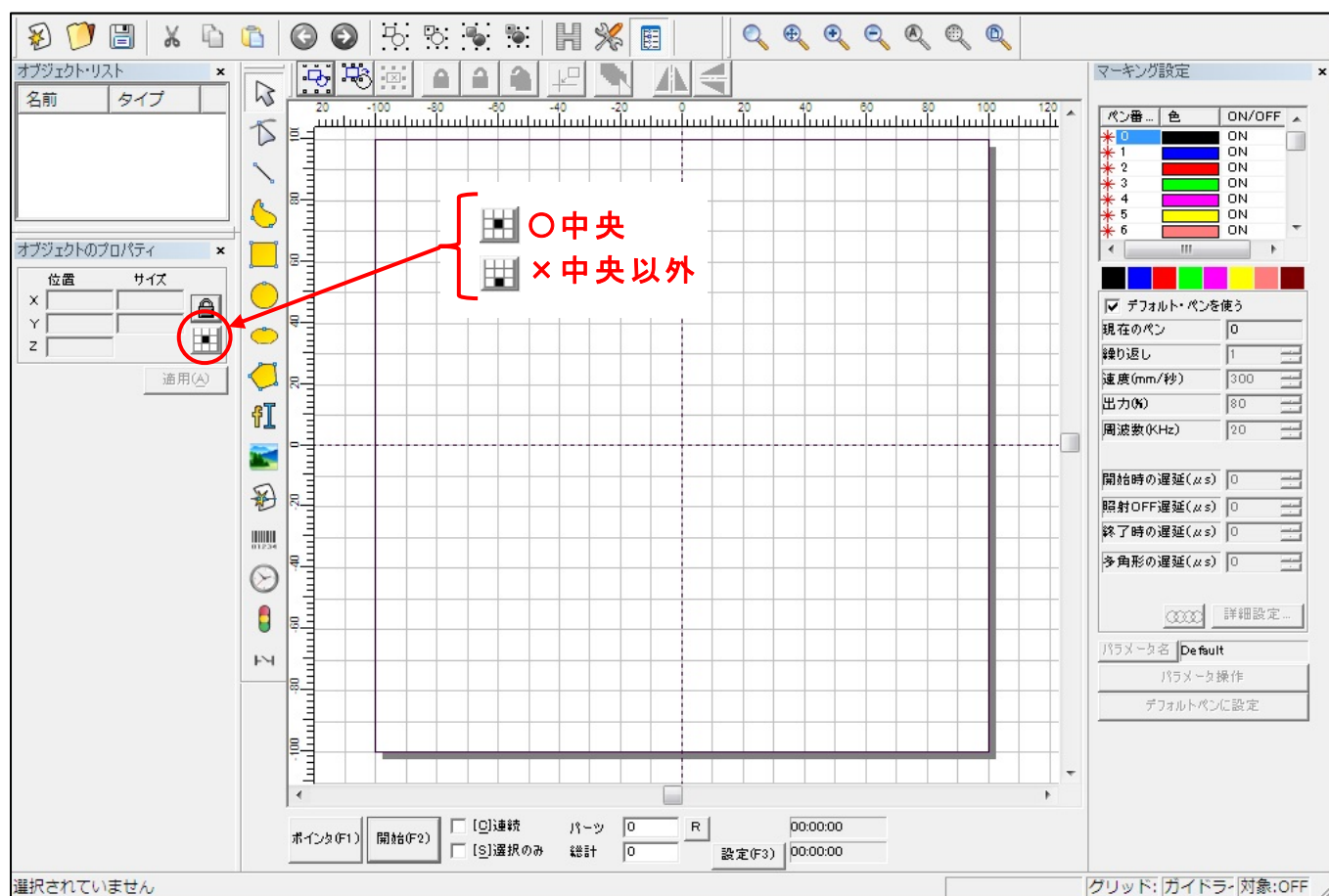
加工のたびに行う必要はありませんが、適切な設定になっていないと加工位置がずれてしまいます。

(1) レーザー設定

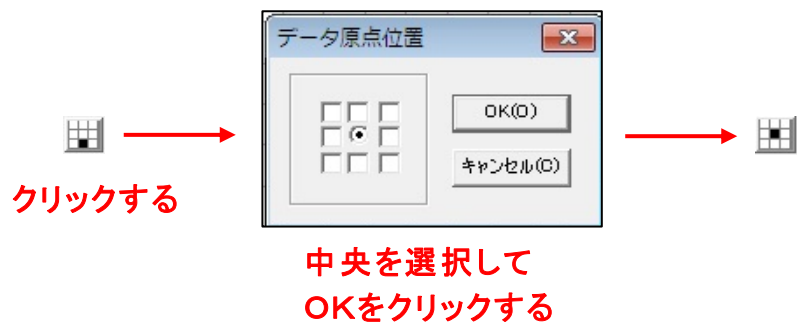
別紙「レーザー設定マニュアル.pdf」を参照し、データ内容と加工結果が一致するように設定・調整してください。特にレッドポイントと実際の加工位置が一致するように調整してください。

(2) データ原点の設定

データ原点は中央に設定してください。



データ原点が中央でない場合は、ボタンをクリックして中央に設定してください。



(3) 装置のスイッチボタン

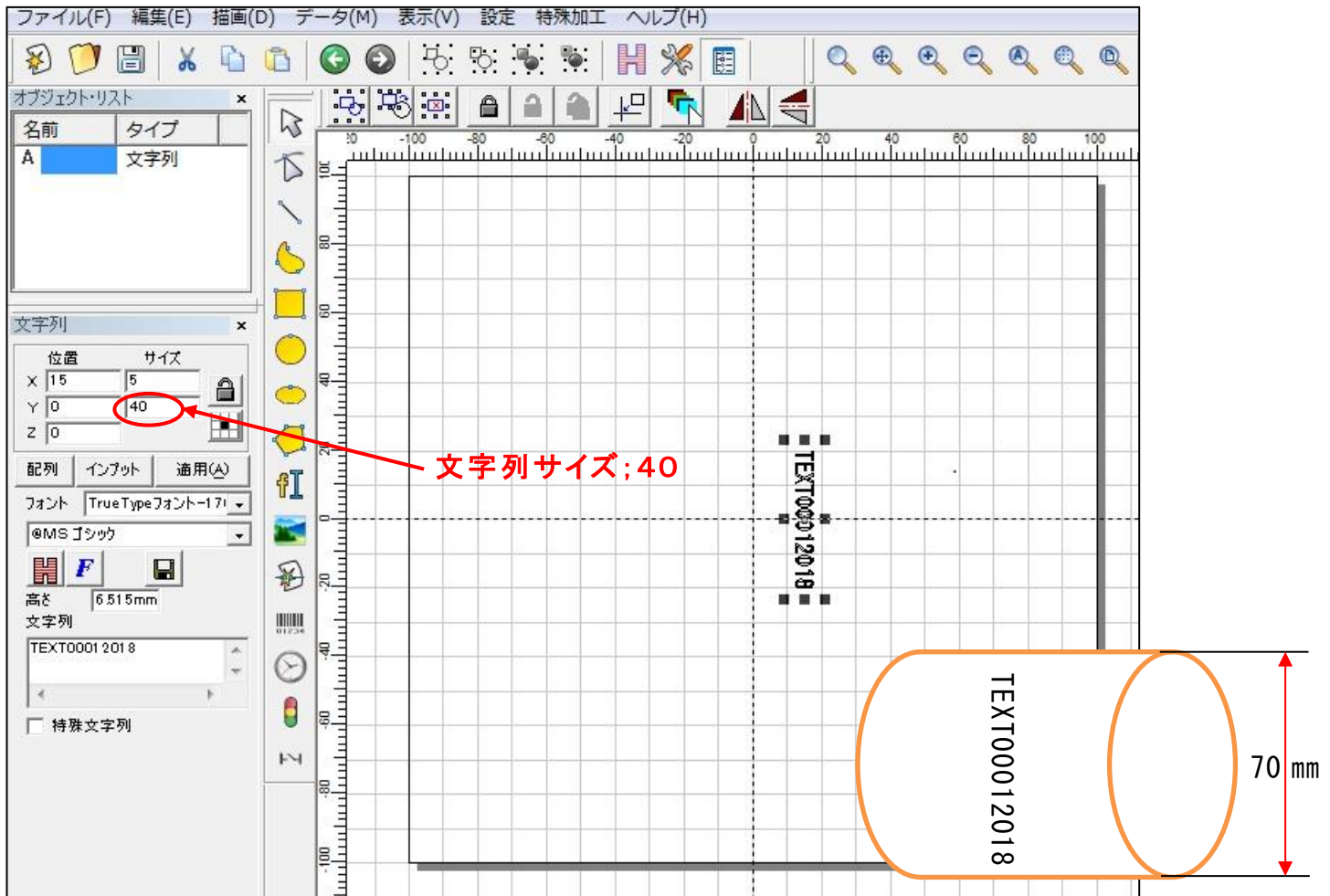
装置操作卓の制御ボタンが全て押されているか確認ください。



※全てのボタンランプが点灯していること

回転加工機

(1) 直径および分割サイズより短い文字列を円筒形の外周にマーキング



文字列サイズ; 40

70 mm

レッドポイント照射時の移動距離

「反転」有無の指定

分割サイズ; 50
直径; 70



ポイント(F1)

開始(F2)

設定(F3)

終了(F5)

レッドポイント 照射中

(a) “反転”にチェック無しの場合

- ・ マーキング開始位置への移動
時計回りに特定位置(今回5mm)に回転
- ・ 文字列が“TEXT00012018”
“1000”→“T”→“X”→“T”→“2018” →“E” の順でマーキング

ちなみに

- ・ 文字列が“TEXT”
“T”→“X”→“T”→“E” の順でマーキング
- ・ 文字列が“00012018”
“1000”→“0182” の順でマーキング

(b) “反転”にチェック有りの場合

- ・ マーキング開始位置への移動
反時計回りに特定位置(今回5mm)に回転
- ・ 文字列が“TEXT00012018”
“1000”→“T”→“X”→“T”→“2018” →“E” の順でマーキング

ちなみに

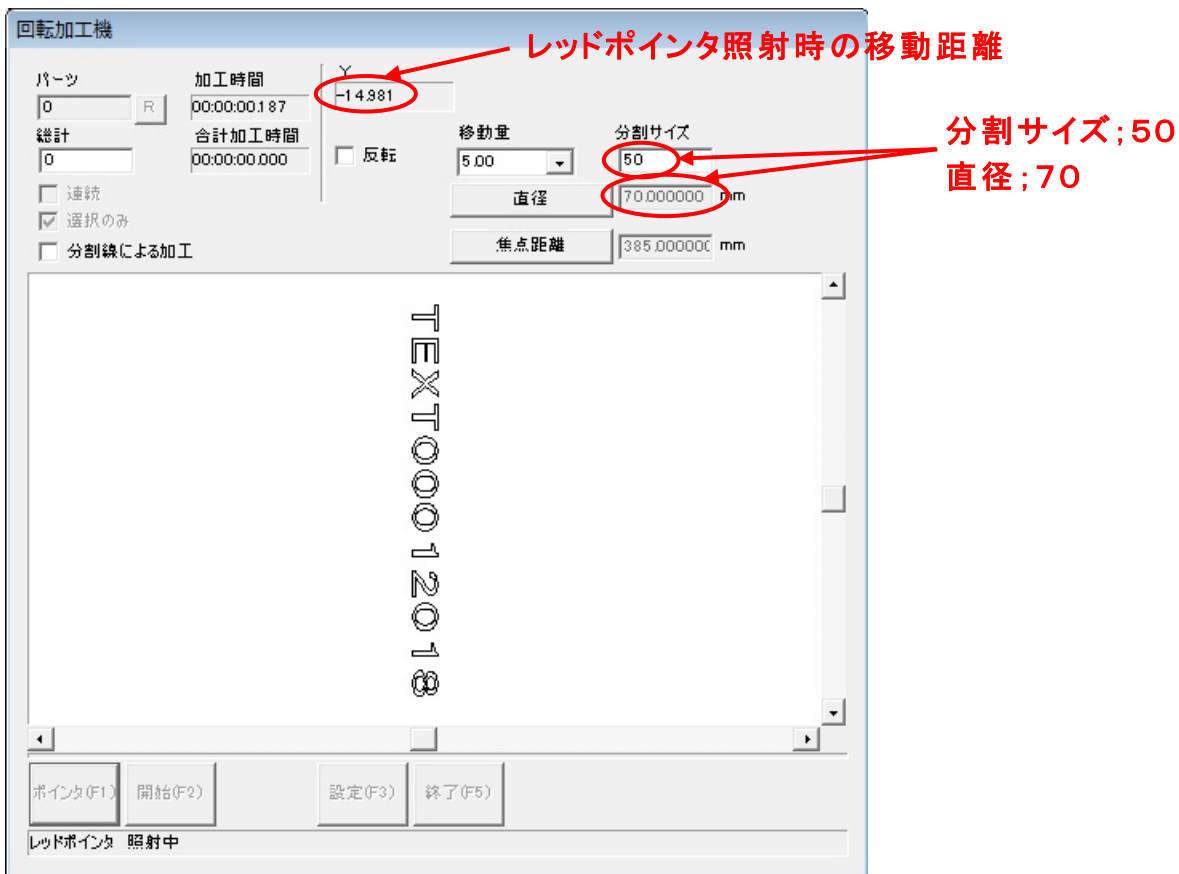
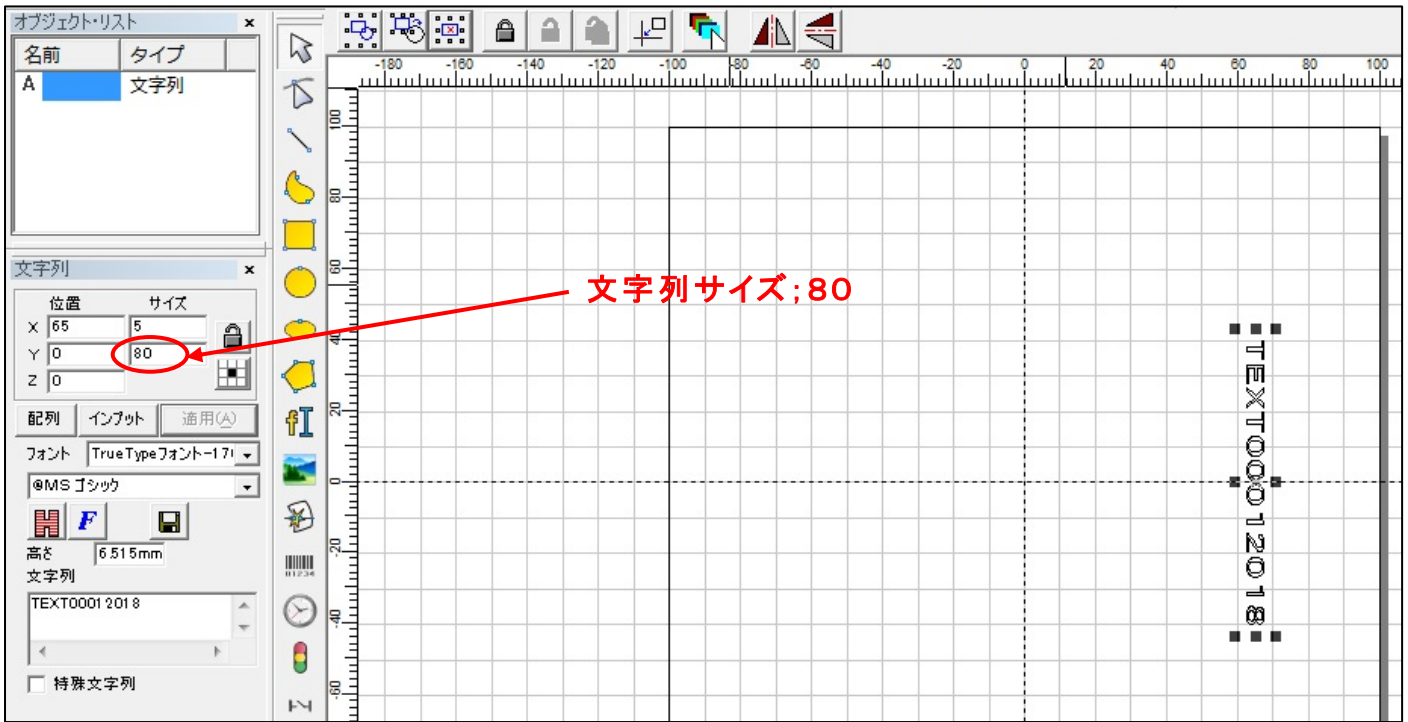
- ・ 文字列が“TEXT”
“T”→“X”→“T”→“E” の順でマーキング
- ・ 文字列が“00012018”
“1000”→“8102” の順でマーキング

(c) まとめ

- ・ 回転の移動量は、設定されている分割サイズとオブジェクトのサイズによって決まり、
回転する方向は、「反転」有無によって決まる。
今回分割サイズが50mm、オブジェクトサイズが40mm なので、 $(50 - 40) / 2 = 5\text{mm}$ 。
「反転」有無により、反時計回り・時計回りに5mm 回転する。
- ・ 文字列のマーキング順は、「反転」有無には関係しない。
(回転加工機の機能のロジックで行われる)

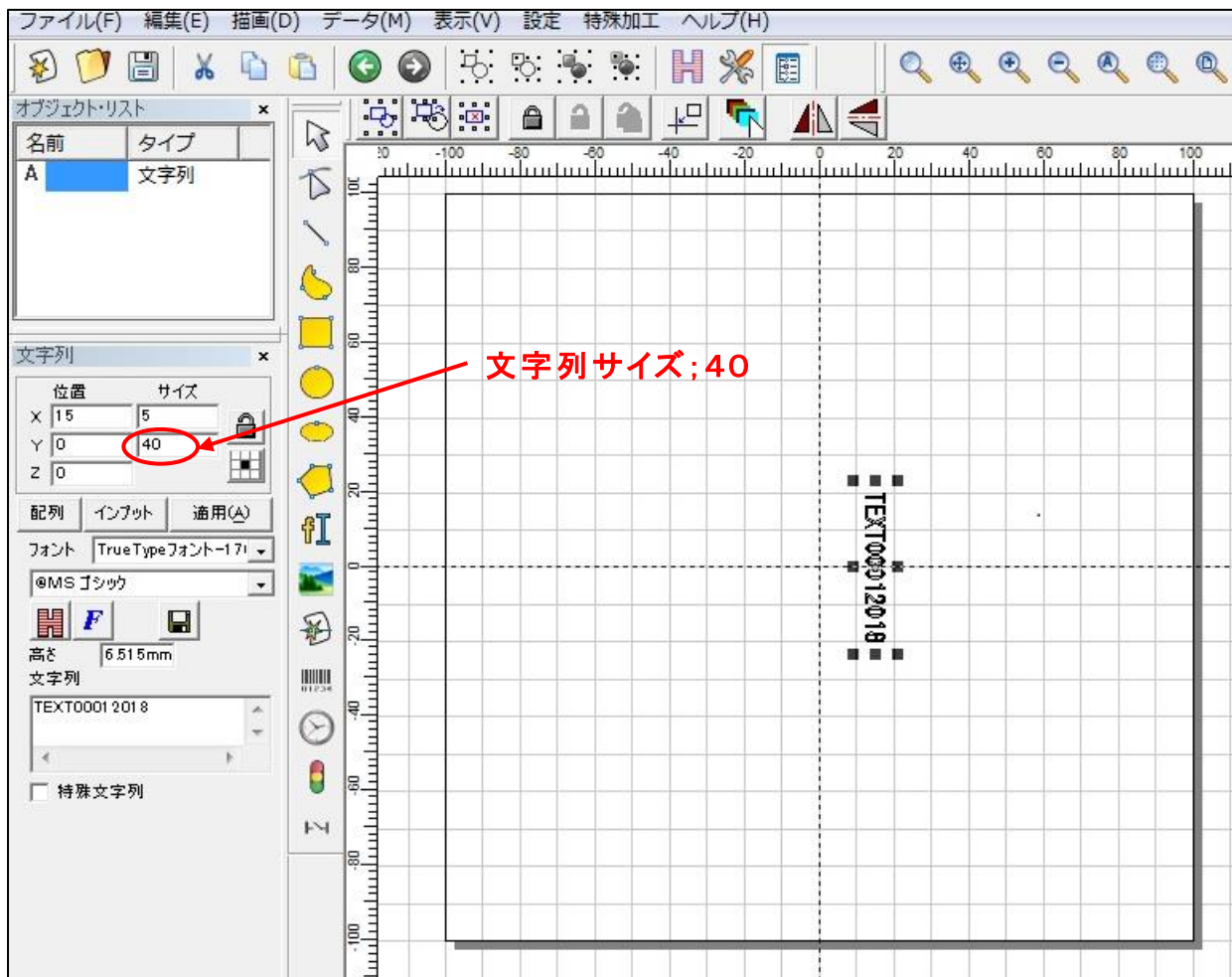
※マーキング例の結果参照(本説明書の最終ページ)

(2) 直径および分割サイズより長い文字列を円筒形の外周にマーキング

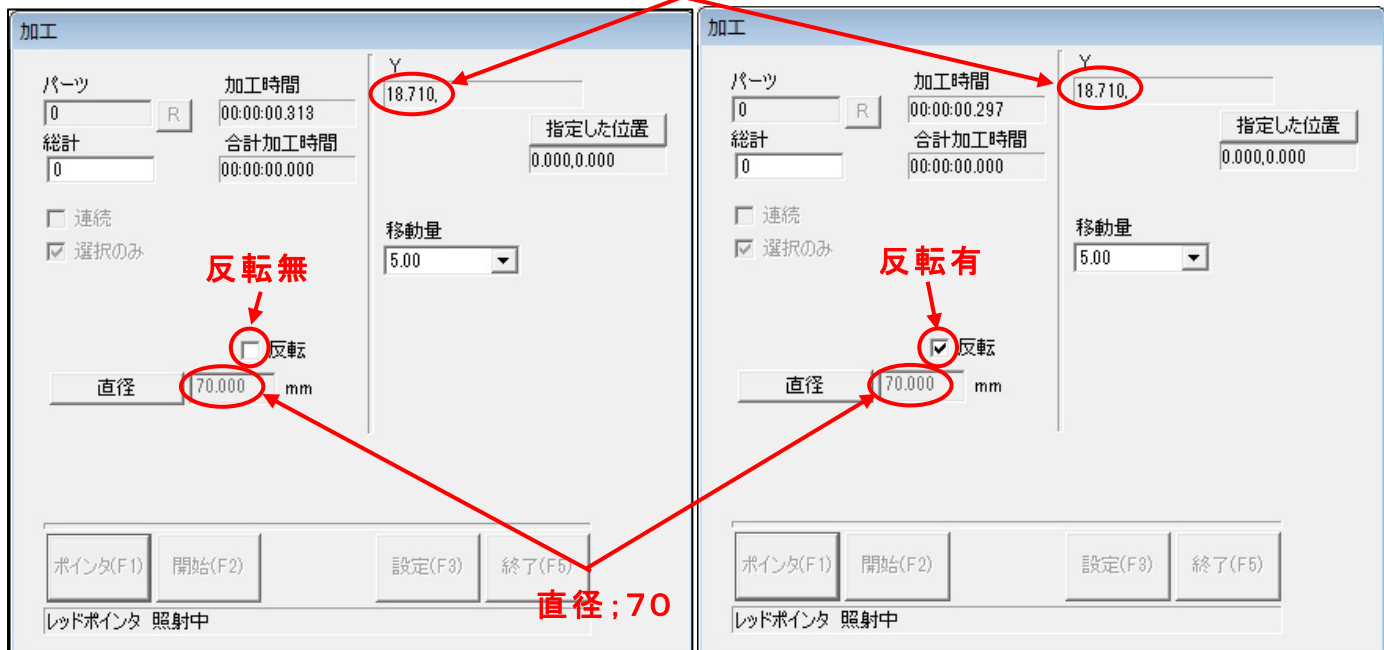


文字列の回転加工

(1) 直径および分割サイズより短い文字列を円筒形の外周にマーキング



レッドポイント照射時の移動距離



- (a) “反転”にチェック無しの場合
- ・ マーキング開始位置への移動
時計回りに特定位置(今回 18.71 mm)に回転
 - ・ 文字列“TEXT00012018”
“TEXT00012018”を右から左へマーキング
(見た目;81021000TXET)
←←←←←←←←マーキング方向

- (b) “反転”にチェック有りの場合
- ・ マーキング開始位置への移動
反時計回りに特定位置(今回 18.71 mm)に回転
 - ・ 文字列“TEXT00012018”
“TEXT00012018”を左から右へマーキング
(見た目;TEXT00012018)
→→→→→→→→マーキング方向

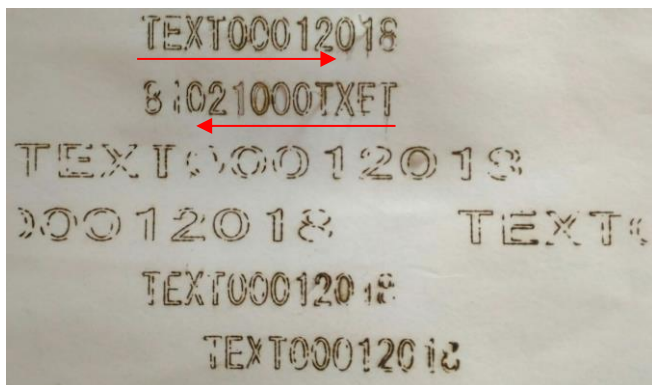
- (c) まとめ
- ・ 回転の移動量は、オブジェクトのサイズ・使用する文字によって決まり、
回転する方向は、「反転」有無によって決まる。(文字によって、幅・高さが違う)
今回の“TEXT00012018”では、18.710mm
“123456789012”では、19.328mm
オブジェクトのサイズを40mmのまま、“123456”では、18.589mm
 - ・ 文字列のマーキング順は、「反転」有無で向きが変わる。
 - ・ マーキング結果の文字列位置は、同じ文字列であれば、「反転」有無で変わらない。

特記事項

- ・ 文字列の回転加工では、1文字ずつマーキングしながら回転させるので、分割はありません。

マーキング例の結果

(1)右の項目に対するマーキング結果



文字列の回転加工	サイズ 40	反転有り
文字列の回転加工	サイズ 40	反転無し
回転加工機	サイズ 80	反転有り
回転加工機	サイズ 80	反転無し
回転加工機	サイズ 40	反転有り
回転加工機	サイズ 40	反転無し

(注)下方向が回転加工機側

文字列の回転加工の矢印はマーキング方向、回転加工機はロジックによるマーキング順